■ 日常生活圏域高齢者ニーズ調査に用いられている指標

1 基本チェックリスト

要介護・要支援状態となるおそれの高い状態にあると認められる者を把握するための 二次予防事業対象者把握事業に用いられるものです。

〇 評価項目

No	問番号	設問		択肢 ; 網掛け)	
1	問6 - Q1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)		2. できるけど,	1
2	問6 - Q2	日用品の買物をしていますか	1. できるし, している	していない	
3	問6 - Q5	預貯金の出し入れをしていますか		3. できない	
4	問7 - Q5	友人の家を訪ねていますか	1. はい	2. いいえ	1
5	問7 - Q6	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい	2. いいえ	
6	問2 - Q1	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	1. はい	2. いいえ	①生活
7	問2 - Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. はい	2. いいえ	-
8	問2 - Q3	15分位続けて歩いていますか	1. はい	2. いいえ	②運動機能
9	問3 - Q1	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	2. いいえ	11
10	問3 - Q2	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	2. いいえ	IJ
11	問4 - Q1	6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	2. いいえ	
12	問4 - Q2	身長()cm,体重()kg	ВМ	I < 18.5	③栄養状態
13	問4 - Q3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ	h
14	問4 - Q4	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	2. いいえ	→ ④口腔機能
15	問4 - Q5	口の渇きが気になりますか	1. はい	2. いいえ	リ
16	問2 - Q5	週に1回以上は外出していますか	1. はい	2. いいえ	うり あいしょう りんしょう しゅうしょう しゅうしょ しゅうしょ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう しゅう しゅうしゅう しゅう
17	問2 - Q6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	2. いいえ	
18	問5 - Q1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1. はい	2. いいえ	
19	問5 - Q2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい	2. いいえ	6認知症
20	問5 - Q3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	2. いいえ	ار ا
21	問8 - Q12	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1. はい	2. いいえ	
22	問8 - Q13	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	2. いいえ]
23	問8 - Q14	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	1. はい	2. いいえ	うつうつ
24	問8 - Q15	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	2. いいえ	1
25	問8 - Q16	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	2. いいえ] J

〇 判定方法

項目	No	リスク該当基準
①生活機能	1 ~20	10点以上
②運動機能	6 ~10	3点以上
③栄養状態	11~12	2点
④口腔機能	13~15	2点以上
⑤閉じこもり	16, 17	1点
⑥認知症	18~20	1点以上
⑦うつ	21~25	2点以上

いずれかに該当する者
→ ↓ **二次予防事業対象者**

2 認知機能の障害程度区分(CPS)

認知機能の障害程度の指標として有用とされる CPS (Cognitive Performance Scale) は 0 レベル~ 6 レベルまでの 7 段階で障害の程度を測るもので、要介護認定調査の主治 医意見書にも使われています。

なお、1レベル以上の障害程度をリスクありとしています。

